

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所
162-0805 東京都新宿区矢来町 65
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「誰もが癒され、大切にされる交わりに」

管区事務所総主事 司祭 エッサイ 矢萩新一

「あなたがたは、このために召されたのです。キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです。『この方は、罪を犯さず その口には偽りがなかった。』罵られても、罵り返さず、苦しめられても脅すことをせず、正しく裁かれる方に委ねておられました。そして自ら、私たちの罪を十字架の上で、その身に負ってくださいました。私たちが罪に死に、義に生きるためです。この方の打ち傷によって、あなたがたは癒されたのです。」

(ペトロI 2 : 21-24、聖書協会共同訳、2019年度大斎節聖句)

「自己覚知・自己開示」「わたしOK・あなたOK」、「からだの健康・こころの健康」、これらは、管区で行なわれたハラスメント防止・対策研修会で学んだキーワードです。自らの弱さや至らなさをさらけ出すことや自己を開示することは勇気があることでもあり、自己を分析・理解し、自覚する作業はとても面倒で、敬遠されがちな作業です。良質な関係は、わたしだけがOK、あなただけがOKでは成り立ちません。感謝の気持ちを持って、あなたもわたしも双方が人間らしく生きられている空間が教会であってほしいと切に願います。しかし残念ながら、教会の中でも様々なハラスメントが起こっています。一人ひとりの人権・いのちがないがしろにされ、そのことに無関心でいようとしてしまう弱さを誰もが持っています。

私たちは、イエスさまの受けられたその傷によって癒され、心と身体の健康を維持しています。そのバランスが崩れてしまうと、良好な人間関係に支障をきたしてしまいます。わたしもあなたも神さまから愛され大切にされている存在であることをしっかりと自覚する時、しんどい思いをしている隣人のために祈り、少しでも寄り添う気持ちを持つことができるのではないのでしょうか。日々のあらゆる出来事や出会いの中で、正しく裁かれる神さまに委ね、イエスさまの足跡をたどる者として、大斎節を過ごし、喜びのイースターを迎えたいと思います。

□会議・プログラム等予定

(2019年3月25日以降)

3月

- 25日(月) 神学教理委員会〔管区事務所〕
- 25日(月) ~ 26日(火) 正義と平和・ジェンダープロジェクト会議〔管区事務所〕
- 26日(火) 管区共通聖職試験委員会〔管区事務所〕
- 26日(火) 財政主査会〔管区事務所〕
- 27日(水) 日韓協働委員会〔管区事務所〕
- 28日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕

4月

- 1日(月) 青年委員会〔管区事務所〕
- 2日(火) 「原発のない世界を求める国際協議会」実行委員会〔管区事務所〕
- 3日(水) 管区事務所会計監査〔管区事務所〕
- 3日(水) 正義と平和委員会〔管区事務所〕
- 8日(月) 主事会議〔管区事務所〕
- 9日(火) 常議員会〔管区事務所〕
- 11日(水) 人権問題担当者会議〔管区事務所〕
- 22日(月) 正義と平和・憲法プロジェクト会議〔中部教区センター〕
- 23日(火) 主教会タスクフォース会議〔管区事務所〕

5月

- 10日(金) ウィリアムズ主教記念基金運営委員会〔立教大学〕
- 13日(月) 「原発のない世界を求める国際協議会」実行委員会〔管区事務所〕
- 16日(木) 正義と平和・沖縄プロジェクト会議〔沖縄・三原〕
- 21日(火) ~ 23日(木) 新任人権研修会〔パルナバホール〕
- 23日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕

.....
✦ 4月19日(金) は受苦日のため、また、4月30日(火) ~ 5月2日(木) は暦通り、管区事務所は休業いたします。

(次頁へ続く)

□各教区

東京

- 第134(定期)教区会において、新教会の名称を「日本聖公会東京教区 インマヌエル新生教会」とする件を、賛成多数で可決した。

□神学校

聖公会神学院

- 2019年度入学礼拝 2019年4月8日(月) 14時 聖公会神学院諸聖徒礼拝堂 司式: 専任教員 司祭 中村邦介 説教: 校長 司祭 佐々木道人 新入生: スザンナ中村真希 (東京)

ウイリアムス神学館

- 2019年度入学礼拝(入学式) 2019年4月3日(水) 11時 京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 司式: 主教 ステパノ高地 敬 説教: 司祭 ヨハネ黒田 裕 入学予定者(本科生) ダビデ佐藤 充 (九州)

□関係諸団体

日本聖公会婦人会

- 第26(定期)総会 6月12日(水)・13日(木) 北関東教区 志木聖母教会

□お詫びと訂正

『管区事務所だより第340号』《人事》東北の記載に誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。

(誤) 信徒奉事者許可→(正) 信徒奉事者認可
米沢聖ヨハネ教会

(誤) ヨハネ小貫晃儀→(正) ヨハネ小貫晃義

(前頁より)

- 27日(月)「原発のない世界を求める国際協議会」海外ゲストフィールドワーク〔福島〕
- 28日(火)～31日(金) 原発のない世界を求める国際協議会〔仙台〕
- 30日(金)～6月9日(日) Thy Kingdom Come (み国がきますように) キャンペーン

<関係諸団体会議・他>

- 4月3日(水) ウイリアムス神学館入学式〔京都〕
- 8日(月) 聖公会神学院入学式〔用賀〕
- 12日(金) マイノリティ宣教センター理事会〔早稲田〕
- 17日(木) NCC 役員会〔早稲田〕
- 18日(木) 同宗連総会〔京都〕
- 22日(月) 日本キリスト教連合会常任委員会・総会〔早稲田〕
- 25日(木) NCC 役員会・常議員会〔早稲田〕
- 28日(日)～5月5日(日) ACC-17・全聖公会中央協議会〔香港〕
- 5月6日(月)～9日(木) 全聖公会総主事会議〔香港〕
- 11日(土)～17(金) 東アジア首座主教会議〔韓国・済州〕
- 21日(火)～23日(木) 在日韓国出身教役者会〔新潟〕

□「代祷表 2019年5月・6月」について

2019年度から ACP(全聖公会代祷表)の形式が変わり、翻訳作業にも若干の影響を及ぼしているため、今月号の事務所だよりへの同封が間に合いませんでした。代祷表 2019年5月・6月は、『管区事務所だより4月号』に同封させていただきます。資料データは仕上がり次第、管区事務所のHPにアップロードいたしますので、入手をお急ぎの方は、管区事務所のHPからダウンロードしてご利用いただけますと幸いです。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。 管区事務所

《人事》

北海道

執事 エリザベツ阿部恵子

2019年5月31日付

札幌キリスト教会牧師補の任を解く。

2019年6月1日付

帯広聖公会牧師補及び帯広聖公会幼稚園チャプレンに任ずる。

執事 ノア上平 更	2019年6月1日付	札幌キリスト教会牧師補に任ずる。(新札幌聖ニコラス教会牧師補と兼任)
司祭 ヘレン木村夕子	2019年4月1日付	道北分区における協働司祭に任ずる。(任期1年)
司祭 クリストファー永谷 亮	2019年5月31日付	帯広聖公会協働司祭の任を解く。
	2019年6月1日付	帯広聖公会管理牧師に任ずる。
司祭 グレゴリー松井新世	2019年5月31日付	帯広聖公会管理牧師及び帯広聖公会幼稚園チャプレンの任を解く。
司祭 パウロ内海信武(退)	2019年4月1日付	平取聖公会及び新冠聖フランシス教会での囑託司祭、またパチラー保育園チャプレンを委嘱する。(任期1年)
司祭 アンデレ甲斐博邦(退)	2019年4月1日付	道北分区における囑託司祭及び深川あけぼの保育園チャプレンを委嘱する。(任期1年)
司祭 ダビデ藤井八郎(退)	2019年4月1日付	函館聖ヨハネ教会及び今金インマヌエル教会での囑託司祭を委嘱する。(任期1年)
聖職候補生志願者 エリサベト三浦千晴	2019年4月1日付	聖職候補生に認可する。

北関東

司祭 ガブリエル西海雅彦	2019年3月31日付	宇都宮聖ヨハネ教会牧師、栃木聖アルバン教会管理牧師および日光真光教会管理牧師の任を解く。
	2019年4月1日付	熊谷聖パウロ教会牧師に任命する。
司祭 マタイ金山昭夫	2019年3月31日付	立教学院出向の任を解く。
	2019年4月1日付	宇都宮聖ヨハネ教会牧師、栃木聖アルバン教会管理牧師および日光真光教会管理牧師に任命する。
司祭 サムエル輿石 勇(退)	2019年4月1日付	榛名聖公会囑託勤務を委嘱する。(任期1年)
司祭 アンデレ斎藤英樹(退)	2019年4月1日付	毛呂山聖霊教会囑託勤務および栃木聖アルバン教会囑託勤務を委嘱する。(任期1年)
司祭 ヤコブ八戸 功(退)	2019年4月1日付	高崎聖オーガスチン教会及び幸手基督教会の囑託勤務を命ずる。(任期1年)
伝道師 アンブローズ 久保田 智(退)	2019年4月1日付	日光真光教会囑託勤務を委嘱する。(任期1年)
主教 ゼルバベル広田勝一	2019年3月31日付	熊谷聖パウロ教会管理牧師の任を解く。
司祭 フランシス秋葉晴彦	2019年3月31日付	願いによって休職を許可する。

中部

聖職候補生 マリア大和玲子	2019年2月16日	公会の執事に接手される。
執事 マリア大和玲子	2019年2月16日付	長野聖救主教会牧師補に任命する。
聖職候補生 洗礼者ヨハネ大和孝明	2019年2月16日	公会の執事に接手される。
執事 洗礼者ヨハネ大和孝明	2019年2月16日付	新生礼拝堂牧師補に任命する。

司祭 テモテ土井宏純	2019年3月31日付	上田聖ミカエル及諸天使教会の協力司祭の任を解く。
司祭 ペテロ田中 誠(退)	2019年4月1日付	司祭土井宏純のもとで稲荷山諸聖徒教会において主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年) (2019年1月17日付公示の長野聖救主教会主日礼拝等への協力を稲荷山諸聖徒教会に変更)

大阪

司祭 ヨシユア原田光雄	2019年4月1日付	富田林聖アグネス教会の主日勤務を解く。
司祭 ヤコブ松平 功	2019年4月1日付	聖ルシヤ教会の主日勤務を解く。
執事 ペテロ金山将司	2019年4月1日付	川口基督教会にて週1日の勤務を命じる。
司祭 ウィリアムス竹内信義(退)	2019年4月1日付	庄内キリスト教会囑託の任を解く。
司祭 ダニエル山野上素充(退)	2019年4月1日付	東豊中聖ミカエル教会囑託の任を解く。
司祭 ペテロ岩城 聡(退)	2019年4月1日付	川口基督教会囑託(月1回第2主日および週1回土曜日の勤務)を委嘱する。(任期1年)

神戸

執事 デオヌシオ遠藤雅巳	2019年3月21日	公会の司祭に按手される。
聖職候補生 バルナバ永野拓也	2019年3月21日	公会の執事に按手される。

原発のない世界を求める国際協議会を開催

—脱原発、反核に向けて— 2019年5月28日～5月31日(仙台)

実行委員長 司祭 フランシス長谷川清純

2011年の東日本大震災から8年が経ちました。去る3月11日には、同時刻に同じ式文により、全国の教会で東日本大震災を憶えて礼拝をおささげいただいております。またイギリス・ロンドンの日本人会衆が中心になり、ウエストミンスターアベイ隣の聖マーガレット教会を始め、世界中の方々も祈りの場を設けられて心を寄せてくださいました。ほんとうに有り難いことです。勇気づけられました。

大震災後には、被災の地にいる者に対してほんとうに多くの皆さまから心のこもった贈り物—救援物資と温かいお言葉がけ—を頂戴し、篤いお祈りを賜りまして、改めてここに御礼申し上げる次第です。

復興への道が見えない福島原発事故

さて、日本聖公会では、大震災後、「いっしょに歩こうプロジェクト」で2年、「パートII」で2年、その後「原発問題プロジェクト」で、継続して被災者へのさまざまな支援活動を続けてまいりました。国の復興事業が進められて、全体的には被災者の方々の生活もそれなりに落ち着いてきたようには見受けられます。地震と津波に襲われた地域では、甚大な被害を受けながらも復興に向けた工事が進んでおり、帰還する人たちが故郷を取り戻しつつあります。他方、大震災と同時に起こった「東京電力福島第一原子力発電所」の爆発事故による人々への影響と、環境への影響はまったく終息しておらず、むしろ想像もできないくらい、

永きにわたって続いて行くものと思われま。未だに、故郷に帰りたくても帰れない、あるいは帰るのを諦めた多数の人たちがおられます。

脱原発・反核への取り組み

このような状況の中、2012年の日本聖公第59(定期)総会では「原発のない世界を求めて～日本聖公会の立場～」を決議し、脱原発に向けた活動を開始いたしました。また2018年6月の第64(定期)総会では、「原発のない世界を求める国際協議会」の開催を決議しました。総会後に立てられた実行委員会は、上原榮正主教が国際協議会々長に就任、私が実行委員長を仰せつかり、委員たちは毎月会議を重ね、開催に向けた準備を鋭意進めています。

この国際協議会では、教会に連なる私たちが一堂に会し、各国の情報交換やネットワークの構築をしながら、核のない世界を作るための新たな歩みを共に進めてまいりたいものと考えています。原発や核に関する課題を共有しながら、今後、日本聖公会内のみならず海外聖公会や他教派とのネットワークを構築し、共に脱原発、反核に向けた取り組みを一層活発なものにしたいと考えています。

ネットワークの構築を目指して

開催日程と場所は、本年5月28日～31日、仙台市太白区にあるホテル茂庭荘です。参加者は教区主教と各教区の教役者と信徒1名ずつの計3名を要望し、開催趣旨をご理解いただき、またジェンダーバランス、年齢バランスに配慮して頂いた人選をお願いし、申込みを受けました。その他、日本聖公会の諸委員からと、さらに海外からは大韓聖公会、台湾聖公会、フィリピン聖公会、英国聖公会、米国聖公会、カナダ聖公会からも参加をいただき、他教派からは日本キリスト教協議会とカトリックからの参加者が与えられる予定です。

国際協議会のプログラム

海外からの皆さんは、大会前日の5月27日、福島県いわきから東電福島第一原発のある大熊町や浪江町等現地をフィールドトリップして、つぶさに現状に触れる機会を設けています。その途

上、福島県新地町で磯山聖ヨハネ教会と祈りの庭に立ち寄り、すべての犠牲者を憶えて祈りを献げます。

大会初日の28日は午後2時から、基調講演を一般公開にして、東北教区主教座聖堂 仙台基督教教会聖堂で開始します。講演者は、メインゲストのミランダ・シュラーズさんです。ドイツの脱原発政策転換に大きな貢献をされたミュンヘン工科大学教授で、メルケル首相が設置した諮問機関である倫理委員会のメンバーの一人でした。ドイツが脱原発へと政策転換した経緯、その後のドイツの現状、高レベル廃棄物処分について等を伺います。私たちが進むべき道を、皆様とご一緒に考える機会とします。是非多くの人たちにお越しいただきたいと願います。

大会では、NPO法人被災者支援ネットワーク・東北ヘルプ事務局長で日本基督教団石巻栄光教会牧師の川上直哉さんの講演や、日本聖公会・相澤牧人司祭と大韓聖公会と台湾聖公会からの発題、参加者全員でのグループシェアリングを通じて、「原発のない世界を求めて～日本聖公会の立場～」を追究し、最終日には大会声明を発表して、日本聖公会がここから歩いていく指針となるようにと願っています。そうして、それによって信仰者としてのこれからの、教会の中でも話題にしていきたいと願っております。

*

*

3月11日に東北教区内10教会会場の東日本大震災8周年記念の祈りで献げられた信施は、本国際協議会開催のために奉献くださいました。感謝申し上げます。



2019年沖縄週間／沖縄の旅へのお誘い

命どう宝

～神の愛に生きる～

『空の鳥をよく見なさい。』

(マタイによる福音書6:26)

■日程：6月21日(金)～24日(月)

正義と平和委員会 沖縄プロジェクト 司祭 サムエル 小林祐二

現在、在日米軍専用施設の70%以上が沖縄県に集中しています。私の住む神奈川県も厚木、座間、池子、横須賀といくつかの米軍施設があり、青森県についてその割合は全国3位となりますが、数字としては5.6%です。沖縄県は香川、大阪、東京に次いで4番目に小さな県ですから、基地密度は飛び抜けて高いものとなります。このことを確認するだけでも、沖縄で何が起こるかは想像いただけるのではないのでしょうか。市街地に飛行場があります。飛行場があれば騒音がでます。戦闘機が最大推力で離陸し、市街地の上空で旋回します。部品だけでなくヘリそのものが落ちてきたこともありました。フェンスの向こうは米国で、日本国とは別な身柄にある人びとが街でも過ごします。

沖縄県民投票が意味するもの

去る2月24日、「普天間飛行場の代替施設として国が名護市辺野古に計画している米軍基地建設のための埋立て」について沖縄県民投票が行なわれました。その結果については多くの方がご存知のことと思います。日米政府に報告され、その後の対応に注目が寄せられているものの、今のところその方針に変更は見られません。しかしながら、この沖縄県民投票結果は、同県以外の国民に対し、「今度は皆さんが考えて」というメッセージとなって発せられているように思うのです。

2019『沖縄週間／沖縄の旅』

昨年開催された日本聖公会第64(定期)総会は、『「沖縄週間」継続の件』を可決しました。

「2019年から2022年までの毎年、沖縄慰霊の日(6月23日)を含む1週間を「沖縄週間」とし、沖縄の宣教課題を具体的に共有する祈りやポスターなどを作成して全国の諸教会で用いる。」と定め、本年も全教区・教会にある兄弟姉妹が沖縄の現実に思いを寄せ主の平和を求めて祈るよう呼びかけます。そして沖縄教区と管区正義と平和委員会が協働し、本年もこの『沖縄週間／沖縄の旅』を計画しています。本年は空の様子も学びたいと思います。沖縄国際大学大学院教授の前泊博盛氏をお招きしての講演では、日本上空での見えない線引き(制空権)についても触れていただけることでしょう。そしてフィールドワークとして、在日米軍海兵隊のキャンプ・シュワブ(辺野古)と普天間飛行場、また在日米空軍嘉手納基地の周辺環境を体験します。毎年沖縄教区が続けている「慰霊の日」礼拝にも参列します。

主イエスは「空の鳥をよく見なさい」と仰いました。改めてこのみ言葉を味わうと、全ての思い煩いを捨てて心を天に上げたいと願いながらも、一人では如何ともしがたい現実には気づきます。沖縄は鎖に繋がれてきました。沖縄の過去、現在と、何が行われ、また何が続いているのかを感じとるなかで、日常の中にあるそれぞれの鎖にも気づくことができるかもしれません。沖縄から差し出されたバトンを受け取り、走り始めることもできるかもしれません。

本年も、一人でも多くの方が沖縄の地をお訪ねになり、その現実をお持ち帰りいただければと願いつつ準備を進めております。各教会宛て

に別途配布される案内をご覧ください、ぜひとも参加をご検討いただければ幸いです。

世界の聖公会の動向

- ・ニュージーランド聖公会
- ・ナイジェリア聖公会

管区渉外主事

司祭 ポール・トルハースト

○ニュージーランド聖公会がマオリ族に対し 植民地時代の土地収奪を謝罪

アオテアロア・ニュージーランド、ポリネシア聖公会 (ANZP) の首座主教であるフィリップ・リチャードソン主教が、1866年に土地の収奪について支持をする決定をしたことをタウランガのマオリ族の人々に謝罪した。

1975年以来、イギリス本国は植民地政府とその後の統治政府が先祖から受け継いだ島々に住んでいた原住民を排除したことに関し、いくつかの謝罪を発表してきた。しかし土曜日に、ANZPはタウランガ・モアナの人々の人権を侵害し収奪に加担したことについて公式の謝罪を述べた。

2つのマオリ族、Ngati Tapu族とNgai Tamara-waho族は、1333エーカーの土地を英国聖公会宣教協会(CMS)に託した。しかし1866年に、CMSはイギリス宗主国にその土地を譲渡してしまった。

謝罪はManawa o Te Wheke教区のNgarahu Katene主教により、ゆっくりとマオリ語 (te reo) で読み上げられた。さらにフィリップ・リチャードソン首座主教が英語で読み上げた。

フィリップ首座主教が謝罪文書を頭の上に持ち上げてうつむきながら跪き、二部族の長老にそれを差し出した瞬間は、その日の最も重要で、

感動的かつ厳粛なひと時となった。

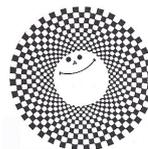
出席者の一人は、この悔悛の行為が、「不平等をもたらす遺産を取り除き、この土地全体に和解の光を輝かせるのに役立つことを望みます」と述べた。

○アホアダ教区のクレメント・エクペイ主教、 誘拐後5日で解放される

ナイジェリア聖公会アホアダ教区のクレメント・エクペイ主教が銃を持った犯人によって誘拐され、5日後に釈放された。

誘拐者の身元は不明であり、ナイジェリア国内の報道によれば、クレメント主教が自発的に釈放されたのか、それとも身代金が支払われたのかは不明である。

記事によれば、釈放後、主教は家族と再会し、その教区の人々にも大変喜ばれたという。アホアダ教区の総主事であるハンソン・バーナード師は、次のように述べた。「私たちは、今朝誘拐犯の手からクレメント・エクペイ主教を奇跡的に釈放できたことを神に感謝します。また、熱心な祈りと励ましに感謝しています。」



📖 管区・出版物案内

『大斎節中の礼拝』 頒価 税込 367 円
2017年10月5日 第7刷発行

お求めは聖公会書店Tel 04-2900-2771 または
お近くのキリスト教書店にお願いいたします。

2019年度 BSAセミナー

ウィリアムズ主教に学ぶ

—その生涯と同師をめぐる人々—

今年には日本聖公会初代主教のチャニング・M. ウィリアムズ師の生誕190周年と1859年に日本に派遣されてから160周年にあたる。

在任中に現在の立教大学をはじめ、多くの教会、施設を建てた。清貧を貫き、その人となりは「道を伝えて己を伝へず」に凝縮されている。記念すべき年にウィリアムズ主教の業績と教えに学ぶ。

日時 : 5月25日(土) 13時～

会場 : 目白聖公会(東京・新宿区)

講師 : 松平信久氏(元・立教学院院长)

主催 : 日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)

後援 : 日本聖公会

参加費 : 500円

交通 : JR山手線「目白駅」下車、改札を出て左方向徒歩5分

問い合わせ: BSA本部 / 電話: 03-3436-4325

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。